

子どもの本

研究会

【私の一冊】

『大和古寺風物誌』

亀井勝一郎著

伊藤 和史

戦時下に奈良の出版社から刊行されて以降、戦後に書かれた文章も加えながら版を重ね、今も古寺巡りのバイブル視されている著名な一冊である。

この本の言っていることはただ一つ、「仏像は仏である」ということだ。このことは、同じくバイブルと併称されてきた和辻哲郎の『古寺巡礼』(岩波文庫)と比べるとよくわかる。こちらは巡礼に先立ち、「仏像は美術品である」と宣言している。その中間を行くような、あるいは、両者のいいとこ取りをするような仏教界、研究者、美術・博物館業界、そして一般の風潮に亀井勝一郎は抗っている。著者の発した問い合わせ、今も全く古びていない。

仏像の美とは何か。仏像の写実的表現とは何か。法隆寺の金堂が暗いのはなぜか。ほかにも、多くの古寺巡礼ファンの意表を突くような疑問が「仏像は仏」の視点で解かれていく。

私が最も衝撃を受けたのは、「何故こんなに多くの仏像が存在するのだろう」と著者が自問し、「仏さまの数が多いだけ、それだけ人間の苦しみも多かつただろう」と記すくだりだ。一見、ごく平凡なことを言っているようで、歴史のただならぬ深淵を突いていると思う。仏とは人々の苦難の証であり、しかも、悲願の結晶だというのだから。古寺巡礼とは、そのような歴史の修羅場を巡り歩くことにほかならないのである。仏像を博物館の展示物と同列に見ていては、永遠に出てこない答えだ。こうした著者の巡礼観と共振できるか否かでこの本との相性は決まる。

一読し、世界を見る新しい目を獲得したと、私は思った。以来、大のひいきとなり、新聞社で担当する歴史の原稿を書く時なども、よく叙述のあれこれを思い浮かべている。



(毎日新聞東京本社 学芸部記者)



◆第1回研究会活動検討会



・日 時 4月11日（日）10時～12時

・場 所 オンライン打ち合わせ（ZOOM）

・参加者 7人（内3人は研究会事務所より参加）

冒頭、横田（理事長）より、本年度の年間計画の紹介及び研究会活動検討会のミッション（今年度の研究会活動についての意見交換）について説明。

続いて参加者各自が、簡単な経歴、研究会に参加することとなつたきっかけなどと今年度の研究会活動に関する想いを紹介。その後はフリーディスカッション。

参加者の中のお一人（東京在住）が研究会の活動に初めて参加されたので、事務所からの参加者3人全員が途中から「びわの木文庫」（事務所2階）に移動。事務所参加者の画像の背景の文庫を見ながら意見交換を継続。

△意見交換

・学校薬剤師として中学校などを訪問（年2、3回）した際に、教師に「おはなし会」の開催を提案することができる。提案する際に、研究

会会員の「おはなし」のサンプル動画があると、紹介しやすい。

・子どもに本を紹介する役割の司書（大人）自身に余裕がないのが現状。司書が心の癒しとして情報を得、勉強する機会があると嬉しい。

・研究会には、講座活動の中で、対象年齢別に紹介する本・作家について調べてきた蓄積がある。これをホームページ等に記載して、親が子どもに本を紹介する際の参考にしてもらつてはどうか。どのような本を奨めたら良いかで悩んでいる親は結構多い。なお、出典の明記など著作権などで問題にならないよう留意が必要。「びわの木文庫」にある本をデータベース化し、どのような本があるかが把握できると、色々活用法が検討できる。ISBN（国際標準図書番号）を使えば、データベース化も比較的容易にできると思う。

・ZOOM打ち合わせへ参加しようとしたら、出てきた質問に適切に答えることができず自分のパソコンからでは参加できなかつた（その結果、事務所で3人一緒に参加）。次回会報の中でZOOM打ち合わせへのアクセス方法を紹介すると良い。

初めてのオンライン打ち合わせでしたが、研究会活動へ初めて参加される方がいたこともあり、盛り上がつた意見交換になつたと思います。次回（6月13日）も楽しみにしています。

（横田 真）

◆講座「2021年度最初のおはなし会」



・日 時 4月21日（水）10時～12時

・会 場 熊本市立図書館 集会室

・参 加 者 11人

△プログラム

○ろうそくのうた

○詩

「朝のリレー／あさ」

絵本『あさ／朝』 谷川俊太郎・文／詩
吉村和敏・写真（アリス館）より

木村 一恵

○絵本&ペープサート
『ひよーん』

まつおかたつひで（ボプラ社）田原三容子

○語り

「まめたろう」 イランの昔話

『おはなしのろうそく19』(東京子ども図書)

○絵本
館 藤田 美津代

○絵本

『ひよこのかずはかぞえるな』

イングリとエドガー・パーリン・ドーレアさく
せたていじ・やく(福音館書店)

○手あそび
有久 賢治



○語り
「たーんたーんたんぽぽ」
川崎洋・詩 倉岡 寿雅子

○語り
「たんぽぽ」
川崎洋・詩 倉岡 寿雅子

「寿命の話」 グリムの昔話
『メルヘンの世界』 相沢博(講談社現代新書)
有久 賢治

○語り
「お貞の話」
『新編日本の怪談』 ラフカディオ・ハーン作、
池田雅之・訳(角川ソフィア文庫)

黒田 真由美

○さよならあんこももち

【参加者の感想】

朝の詩は、希望を感じる朝が好きで選んだ▼



(木村 一恵)



※お願い

クマの切り抜きや折り紙で作った四つ葉のクローバーをあしらった手作りのプログラムを準備。「受付でこれを手にしてワクワクした。おはなし会が始まるんだと嬉しかった」と参加者。みんなに会い、声が聞ける幸せを共有した。

◆2021年度 総会の「案内◆

日時 6月20日(日)午前11時~

場所 熊本子どもの本の研究会事務所

熊本市東区西原1-15-24

審議議案

第1号議案 定款の変更

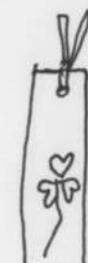
第2号議案 2020年度事業報告
第3号議案 (含む監査報告)

第4号議案 正会員の会費の額

第5号議案 2021年度事業計画(案)
第6号議案 2021年度活動予算(案)
第7号議案 役員改選



○語り
「お貞の話」
『新編日本の怪談』 ラフカディオ・ハーン作、
池田雅之・訳(角川ソフィア文庫)



クマの切り抜きや折り紙で作った四つ葉のクローバーをあしらった手作りのプログラムを準備。「受付でこれを手にしてワクワクした。おはなし会が始まるんだと嬉しかった」と参加者。みんなに会い、声が聞ける幸せを共有した。

コロナの新規感染が依然として収まつてない状況ですので、最小人數での開催とさせていただきます。正会員の方々は、同封の総会資料をご確認の上、6月12日まで出欠の葉書をご投函願います。

2020年度事業報告

○読書推進事業

【20年度開講講座】

◆お話しと子どもの本の世界へ

2020年度の講座を楽しむために

・日時 4月22日（水）10時～12時

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【定例講座】

※6月24日、21年1月27日は中止
①9月23日 国際交流会館 8名参加

動物物語の古典から生きる希望を学ぶ

『ねずみ女房』（ルーマー・ゴッテン 福音館書店）

- ・日時 いずれも水曜日 10時～12時
- ・開催時は、コロナウイルス感染防止対策をとつて行った。



◆絵本を楽しむ講座（全4回中2回開催）

②11月25日 熊本市立図書館 8名参加
日本の神話を学ぶ

『古事記物語』（福永武彦 岩波少年文庫）

※6月3日、2021年2月3日は中止

9月2日は10月28日に変更

①10月28日 国際交流会館 8名参加

ほら、こんなところに妖精が！（妖精絵本の世界）

②12月2日 熊本市立図書館 8名参加

ブックスタートを楽しもう（赤ちゃん絵本の魅力）

◆ボランティアメンバーリンク会

21年2月24日 国際交流会館 10名参加

子どもへ手渡す「わらべうた」の世界

※全4回、新型コロナ感染拡大防止のため中止

講師 廣瀬しづのさん

◆お話を楽しむ講座（全4回中1回開催）

※5月13日、7月8日、21年1月13日は中止

①10月14日 国際交流会館 15名参加

お話しの実習と小道具製作 語り「はなたれ」ぞうさま」～牛乳パックを使った自己紹介カード～

・熊本大学教育学部付属支援学校 小学部

10月23日（金）、12月11日（金）
13時30分～14時



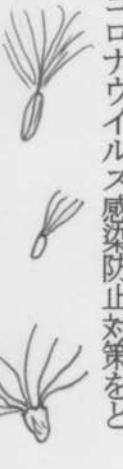
◆物語を楽しむ講座（全4回中2回開催）

※6月24日、21年1月27日は中止

動物物語の古典から生きる希望を学ぶ

『ねずみ女房』（ルーマー・ゴッテン 福音館書店）

- ・日時 いずれも水曜日 10時～12時
- ・開催時は、コロナウイルス感染防止対策をとつて行った。



◆絵本を楽しむ講座（全4回中2回開催）

②11月25日 熊本市立図書館 8名参加
日本の神話を学ぶ

『古事記物語』（福永武彦 岩波少年文庫）

※6月3日、2021年2月3日は中止

9月2日は10月28日に変更

①10月28日 国際交流会館 8名参加

ほら、こんなところに妖精が！（妖精絵本の世界）

②12月2日 熊本市立図書館 8名参加

ブックスタートを楽しもう（赤ちゃん絵本の魅力）

◆ボランティアメンバーリンク会

21年2月24日 国際交流会館 10名参加

子どもへ手渡す「わらべうた」の世界

※全4回、新型コロナ感染拡大防止のため中止

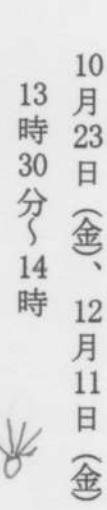
○子どもの健全育成事業

ボランティア活動

「おはなしボランティアびわの木」

・熊本大学教育学部付属支援学校 小学部

10月23日（金）、12月11日（金）
13時30分～14時



中学部

7月20日（月）、10月26日（月）、
12月14日（月） 13時～13時30分

・熊本県立熊本支援学校

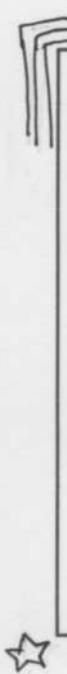
・熊本県立熊本かがやきの森支援学校

・熊本県立熊本かがやきの森支援学校

※新型コロナ感染拡大防止のため中止



インターネットで研究会活動を
さらに楽しんでください！



研究会では、2021年度より会報「子ども

の本」をホームページ上で全文公開とする他、オンライン会議（ZOOM）形式での研究会活動検討会を2か月に一度の頻度で開催するなど、インターネットを活用した活動を拡大しております。以下、活用方法を紹介いたします。

① 会報発行等の「案内

会員の方々には、電子メールで会報の発行及び活動の開催・変更・中止などの情報をタイムリーにご連絡いたします。まだメールアドレスを登録されていない方は左記アドレスまでご連絡願います。

member(a)kodomonohon.org

② 過去の会報の全文閲覧

会員になられた方々にご連絡しているパスワード（会員限定サイトアクセス用）を入力する」とにより、2017～2020年度の会報

の全文を閲覧することができます。「自身が以

前参加された活動の記録を再度確認されてもいかがでしょうか。

③ 会員の広場（会員限定サイト）

2021年度以降の活動の記録と会員からの投稿を掲載するサイト「会員の広場」を設定しました。

活動の記録を会報発行前でも読むことができる。また、日頃感じていらっしゃることを会員限定で紹介（投稿）していただけます。投稿については、◆投稿募集◆をご参照下さい。事務局スタッフも投稿させていただきます。

④ 研究会活動検討会（ZOOMでのオンライン打ち合わせ）

研究会の活動に関する自由な意見交換会の場です。参加して、研究会活動に期待していることをどんどん発信して下さい。ZOOM打合せへの参加については6ページをご参照願います。

member(a)kodomonohon.org

「(a)の」と「(a)」を「(a)」に変えて下さい

◆ 投稿募集◆

「会員の広場（会員限定サイト）」への会員

の皆様からの投稿を募集いたします。

投稿にあたっては、以下の参考願います。

・「(a)」～皆様からの投稿を楽しみにしています

① テーマ

「おすすめの本」、「自粛生活の中で考えたこと」、「最近楽しかったこと」など、最近感じたこと、関心を持っていることについて「紹介下さい。本を紹介されるときには、書名、著者名、出版社名を「記入下さい。なお、投稿文には「タ

イトル」をお付け願います。

② 名前

姓名に加え属性（研究会会員、中学校教師等）を記載願います。

③ 文字数

800字程度を目安として下さい。

④ 投稿の取り扱い

投稿は随時受け付けます。サイトへの掲載にあたって、編集に関するご相談をさせていただきますことを「了解願います。会報へ転載（一般公開）させていただく場合には、改めて「相談させていただきます。

第2回研究会活動検討会開催案内

第1回検討会は参加者7名で、熱のこもった議論をすることができました。第2回を下記のとおり開催いたしますので、皆様のご参加お待ちしております。非会員の方でも事前登録いただければ参加できます。

開催日時：2021年6月13日（日）10:00-12:00

開催形態：オンライン会議（ZOOM）

議事案

- ・前回議論の振り返り
- ・個別活動について（各参加者からのコメント・意見交換）
- ・会報・ホームページ・びわの木文庫の活用について



参加希望の方は下記アドレス宛に6月11日までにご連絡願います。

連絡先・zoom(a)kodomonohon.org 〈(a)を@に変えてアドレスにして下さい〉



記載事項：

件名：「研究会活動検討会（6月13日）参加登録」と記載願います。

メール本体：①氏名、②e-mailアドレス、③電話番号（連絡確認用）、

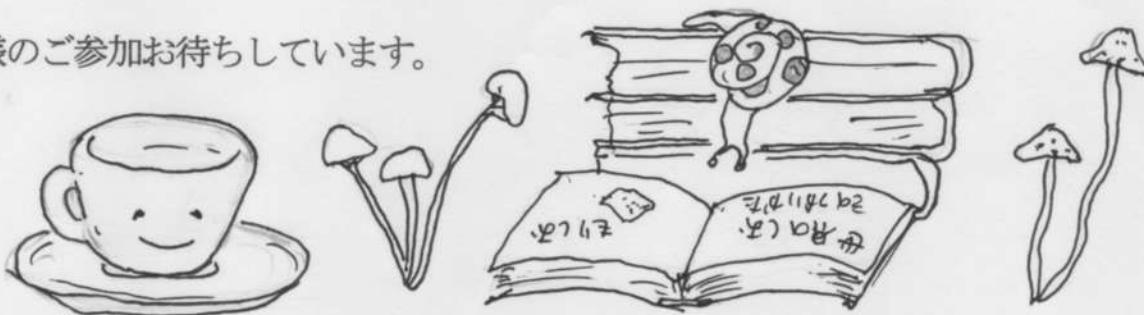
④備考（個別活動の提案、ZOOM会議参加の事前確認希望など）

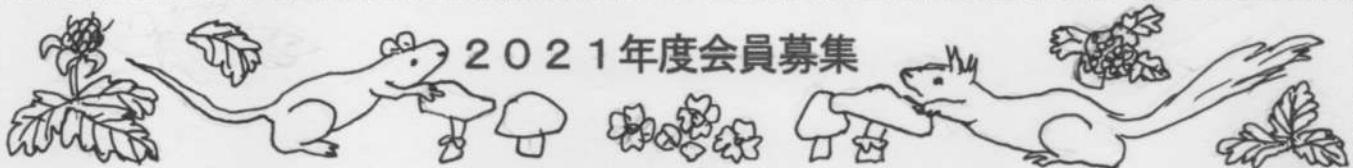
会議前日（6月12日）にZOOM会議開催（URL）のご案内をいたします。

参加登録の際に「事前確認希望」と記載された方には、事前に横田が、ZOOM会議のセッティングについてご説明させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

前回の議論については会報掲載の記録（2ページ）をご参照願います。

皆様のご参加お待ちしています。





2021年度会員募集

2021年度（2022年3月まで）活動は、4月11日（日）の研究会活動検討会（オンライン会議〈参加7名〉 今年の個別活動、びわの木文庫の活用法等について意見交換）から始まりました。4月21日の講座「2021年度最初のおはなし会」（熊本市立図書館・参加11名）も無事開催できました（会報の2、3ページを参照願います）。

研究会活動検討会は今後も偶数月に開催しますし、講座活動のほうも5月（ナンセンス絵本を味わう）、6月（生きる力を、いつ、どのように獲得するのか）、7月（七夕おはなし会）と予定しています。8月以降も皆様の意見をお聞きし、企画していきます。

研究会の2021年度活動に会員として是非ご参加いただきますとともに、お仲間をお誘いくださいますようお願い申し上げます。

2021年度より会報「子どもの本」（奇数月刊）は、ホームページで公開することといたしました。会員の方々には、会報公開直後にメールでお知らせさせていただきますが、インターネット環境へのアクセスが難しいなどから郵送をご希望の方はご連絡願います。



会費：正会員 4,000円、賛助会員（団体） 10,000円（一口）
ご寄付の形でのご支援もお待ちしております。



会員登録及びご寄付にあたっては下記メールアドレス又はFAX宛にご連絡願います。
連絡先：member(a)kodomonohon.org ((a)を@に変えてアドレスにして下さい)
FAX . 096-382-5090

件名：「2021年度 正会員/賛助会員（団体）登録」又は「2021年度寄付」
メール本体：①氏名、②e-mailアドレス、③電話番号、④住所
⑤備考（会報の郵送希望など）

または、下記口座宛に直接お振込み願います。

ゆうちょ銀行

口座番号：01920-4-1211 口座名：熊本子どもの本の研究会

通帳記号：17110 番号：435061

振込の際、通信欄に、上記①～⑤の記載をお願いいたします。



会員登録お待ちしています！

次回以降の講座の「案内」

●生きる力を、いつ、どのように獲得するのか

課題本『ゆきのよあけ』今村華子・文 童心社

・日時 6月16日(水) 10時～12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

●七夕おはなし会

・日時 7月7日(水) 10時～12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

★参加には事前登録が必要です。

(申し込み先)

・メール kouza(a)kodomonohon.org

(a)を@に変更して宛先としてください

・FAX 096(382)5090

※社会状況により開催会場および日程が変更または中止になる場合があります。お越しになる前に必ずホームページでご確認ください。

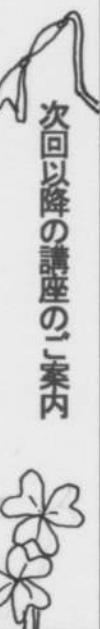
ご惠贈 ありがとうございました

* 手島 圭二郎様より

『きたきつねどはるのいのち』(絵本塾出版)

手島 圭二郎(著)

本はともだち!



その気持ち良く分かると、ついつぶやいてしました。

今回紹介する本は『天を測る』(今野敏 講談社)です。幕府の生真面目な官僚として幕末期を過ごした小野友五郎の半生記で、30年間役所勤めをしていた私にとっては、非常に親近感の持てる小説でした。

笠間藩(茨城県笠間市周辺)の家臣であった

小野は、算術の才を買われて幕府出仕となり、長崎の海軍伝習所で航海術を学んだことから、咸臨丸に航海長として乗り組むことになります。江戸幕府は案外地方人材を登用していたのです。小説は咸臨丸での航海中に小野がその測量の力量で米国士官を驚かせるところから始まり、一緒に米国に渡った同僚達と米国の造船所の調査に取り組んだり、帰国後造船所づくりに邁進したりと、官僚としての彼の活躍が紹介されています。

面白いのは咸臨丸船長である勝海州を目立たせながら屋だと覚めた目で見ていたり、2度米国行きで一緒になつた福沢諭吉を問題児として断罪していたりするところです。記載されている勝、福沢の行動は、真面目な官僚から見れば、いい加減にしてくれと言いたくなるもので、

小野は幕府のそれなりの地位におり、様々な情報も入っていたようですが、自分に割り当てられた業務を着実にやっていきます。うまく立ち回ろうとはしない小野の立場からの淡々とした記述に、官僚としての矜持を感じました。

明治維新後、一度捕縛されたりしますが、明治政府で鉄道敷設の仕事に携わったりと、引き続きその才で世の中に貢献したことですね。こういう人たちが近代日本を築いたのですね。母(幸子)は元気で過ごしています。コロナ禍の下会える回数が制限されていますが、妹が訪問した際には、車いすを押しながら施設の周りと一緒に散歩しているとのことです。私からは、4月のおはなし会が無事開催できたこと電話で報告しておきました。



横田 真

■編集＝池田・金子・上林・横田
『イラスト』安田

特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会 発行

〒861-8029
熊本市東区 西原一丁目一五の一四

fax 096(382)5090